



ベトナム航空

最新鋭A350やB787

日本～ベトナム間の充実した

ベトナム航空(HVN)が着実にビジネスを拡大・充実させている。最新鋭機であるA350-900 XWBやB787を導入することで、運航フリートの若返りが急速に進む。日本～ベトナム間の航空貨物輸送において、質・量ともにトレードをリードしてきた同社のサービスは、それら新鋭機の投入でグレードアップの歩調を速めている。アジア新興国の多くが経済成長の鈍化に直面する中で、順調な成長を続けるベトナムのフラッグキャリアならではの積極的な経営姿勢が際立つ。

冬期の日本線は自社便だけで週68便

ベトナム航空は10月末、関空～ホーチミン線に従来のA330に替えて、A350-900 XWB(以下A350)を就航させた。他社に先駆けて新鋭機A350の対日定期路線への投入を果たしたわけである。

A350XWB(エクストラ・ワイド・ボディ)は中距離から長距離路線向けの中型ワイド・ボディ機で、旅客機でもベリースペースに貨物を多く積める機体であることが、



トラックの前で、ゲンクワン チュン日本地区総支配人(右)とヴォー ヲック ヒエップ日本地区貨物部長

評判の機種だ。貨物は8パレット4コンテナ搭載でき、キャパシティは約20トンという。

HVNは2015年3月、東南アジアの航空会社として初めて、世界でも2番目にA350を受領した。すでに4機のデリバリーを受けて就航させており、さらに発注済みの20機が今後、順次デリバリーされ就航することになる。

同社は10月末、関空～ハノイ線についても、従来のA321からA330に代替して投入機材を大型化している。日本路線において旅客および貨物の輸送能力を拡充しようという方針が、明らかに見てとれる。

HVNが日本路線をいかに充実させているかを、2016年の冬期スケジュールで確認してみよう。コードシェア便を除く、自社運航便の概略は、次のように発表されている。

東京便は、羽田～ハノイ線(デイリー、A321)、成田～ハノイ線(デイリー、B787-900)、成田～ホーチミン線(ダブル・デイリー、B787-900およびA321)、成田～ダナン線(デイリー、A321)となっている。

以上のように成田からはハノイ/ホーチミン/ダナンのベトナム主要3空港への便があるほか、羽田からもハノイ便がある。

そのほか、関空～ハノイ線(デイリー、A332)、関空～ホーチミン線(デイリー、A350)、中部～ハノイ線(デイリー、A321)、中部～ホーチミン線(週5便、A321)、福岡～ハノイ線(週4便、A321)、福岡～ホーチミン線(週3便、A321)など、HVNの自社便だけで週68便もある豊富なサービスだ。

関空に到着したA350の初便(画像提供: 関西エアポート)

導入で貨物サービス向上

直行ネットワークが業績を支えて

とくに関空/中部/福岡の3空港については、HVNがベトナム向けに唯一、定期運航しているキャリアである。そのため、日本の羽田/成田/関空/中部/福岡の5空港と、ベトナムのハノイ/ホーチミン/ダナンという3空港とを直行便で結ぶ同社は、日本～ベトナム路線において圧倒的なプレゼンスを誇っているといえよう。

そのうえ、前述のとおり関空～ホーチミン線や関空～ハノイ線で運航機材の大型化を実行するなど、サービス品質の向上にも努めている。また、機材については19機発注して5機受領したB787のうち、2機を成田～ハノイ線、成田～ホーチミン線で運航していることから、新鋭機への代替が順調に進んでいることが見てとれる。

空港間輸送トラックをPRIに利用

HVNは中部と福岡から、それぞれハノイとホーチミンへの直行便を運航しているうえに、中部からは成田と羽

田へ毎日トラック便を運行し、また福岡からも関空へ毎日トラック便を運行している。そうした日本国内の空港間のトラック便運行により、日本～ベトナム間の航空貨物の輸送サービスが、顧客にとってより使いやすくなるように配慮しているわけである。

HVNではこうした空港間のデイリー・トラック輸送を活用したPR活動も始めた。ことし7月からトラック運行会社の平野ロジスティクスと7年契約を結んで、10トントラックの荷台全面にB787-9の機体と“Vietnam Airlines Cargo”の文字およびロータスのロゴマークをデザインした、高耐圧性のラッピング・フィルムを貼ったトラックを走らせている。

HVN Cargoのラッピング車は、おもに成田/羽田/横浜/中部/関西/福岡などの間で、輸出貨物を空港間や保税上層倉庫間でOLT輸送(陸上保税輸送)したり、輸入貨物の通関後の配送業務に利用されている。



ハノイの航空貨物上層の搬出入口と倉庫内部



世界に広がるベトナム航空の路線網

10トントラックの長さ9.75m×高さ2.76mの両側面に最新型航空機をあしらったラッピング車は、幹線道路や街中で目を引くことは間違いない。

こうしたPR戦略を実行することができるのも、同社の日本～ベトナム貨物路線が好調な業績を上げ続けているからこそだろう。

ベトナム航空のキャパは今や週400トン

日本からのベトナム向け輸送実績はここ数年、毎年高率で伸び続けている。

HVNの対日定期サービスは、1994年に関空～ホーチミン線でのB767-200による週3便運航から始まった。当時の貨物キャパは週当たり約30トンにすぎなかったという。

それが現在では週に約400トンにまでキャパシティが拡大し、ベトナム直行便キャリアとして最大のキャパシティを日本市場で提供しているというから、まさに隔世の感がある。

アジア新興国の経済成長率が鈍化するなかで、ベトナム経済は例外といえるほど順調に成長が続いていることを反映した、同社の事業の拡大ぶりといえそうだ。

現在、日本からベトナム向けの主要アイテムは、テキスタイルやフットウェアの素材・原料、スマートフォンの部品、その他電子部品といったところ。

また、ベトナムではすでにイオンモールがホーチミン

に3店舗、ハノイに1店舗あるが、この11月に5店舗目となるハノイ地区2号店がオープンしている。

こうした企業活動からは、ベトナムにおいても日本の農水産物など食材に対する需要が増加することが予想される。加えて同国でもe-コマース市場が成長してきており、そうした分野の新たな商流が、今後のベトナム向け航空貨物需要の拡大要因となると見込まれている。

貨物営業の担当者による

と、ベトナム向けは関東からは電子部品などが多く出荷されるのに対して、関西はベトナムで縫製する衣料品の原反（テキスタイル）、名古屋はスマホ関係の部材の出荷が多いといった地域性がある。

ベトナム航空の日本における営業は日本支社・貨物部門と、22年間貨物総代理店として業務を行っているウエスタン・アソシエイツが、日本市場の顧客に誠実な営業とプロモーションを実施してきたことで信用を築いた。さらに東京・名古屋・大阪・福岡の営業オフィスおよび、成田・関空の空港オフィスの連携により、顧客との信頼関係が盤石であることは間違いない。

スカイトラックスの4つ星を獲得

ことし7月、ベトナム航空は国際的な航空会社の格付け機関であるスカイトラックス社から、4スター認定を獲得した。とりも直さず、HVNがサービスの品質において先進国のハイレベルなサービスを提供している航空会社と、肩を並べたことを意味する。

これは、HVNが機内および空港におけるプロダクト、サービスの水準を、近年大きく向上させたことが評価された結果だ。

スカイトラックスでは、「これほど短期間で最新鋭2機種（A350およびB787）を導入するのは、並大抵のことではないが、ベトナム航空は中核となる長距離輸送市場向けに、すばらしい新型航空機を導入するとともに、ハイ

レベルなサービス・コンセプトに基づいて、4スター認定にふさわしい改革・改善を実施した」と賞賛している。

こうしたHVNの姿勢は、旅客関連の業務にとどまらず、貨物輸送の分野においても、同様な品質向上への取り組みが行われていることを示唆するものだろう。新鋭機の導入を機にHVNは航空会社として、大きなランクアップを果たしたようにみえる。

ところで、HVNではベトナムについて知ってもらうことを目的に毎年、フォワードのスタッフを招待してFAMツアーを実施している。

ハノイ/ダナン/ホーチミンといったベトナム主要都市への研修旅行を企画することで、日本の物流業者への啓蒙活動を行っているのだ。

担当者は、「フォワードのスタッフでも、ベトナムは初めてという方もいますし、一緒に旅行すれば長い時間、行動をとるにすることで、人間関係が深まります」と、ツアーの効用はなかなかのようだ。

ツアー日程に研修予定を入れず、参加者が1日フリーな日を設け、物流業者が自社のベトナム・オフィスを訪ねて、駐在員や現地スタッフと自由に会えるよう配慮さ



セミナーの後は参加者どうし親交を深める

れていることも好評だという。

そのほか、顧客企業のスタッフを対象としたセミナーを日本各地で開催している。こちらも好評なようで、毎回、多くの参加者で賑わうという。堅い話の後にはいつも、一杯飲みながらの懇親会もセットされている。

ベトナム航空の機材刷新を軸としたビジネス改革をみていると、物流市場の需要に適応した柔軟かつ機動的な経営姿勢が感じられるのである。

新興市場へも、ベトナム航空で。

日本の5空港からハノイ、ダナン、ホーチミンへ。ベトナム航空は大きく広がるネットワークとクオリティでベトナム国内はもちろん、その先の新興市場の国々へお客様の大切な貨物をいち早く、丁寧にお届けすることができます。ベトナム・プラス、アジアへ。ベトナム航空をぜひご利用ください。

羽田→ハノイ	VN385	毎日	16:35 → 20:50 (12/1-12/31)	A321
成田→ハノイ	VN311	毎日	10:00 → 13:55 (12/1-12/28)	A321
成田→ホーチミン	VN301	毎日	09:30 → 13:50 (10/30-1/31)	B769
	VN303	火・水・木・土・日	19:00 → 23:55 (12/1-12/31)	A321
成田→ダナン	VN319	火・水・木・土・日	15:25 → 19:45 (12/1-12/31)	A321
関西→ハノイ	VN331	毎日	10:30 → 14:00 (12/1-12/31)	A332
関西→ホーチミン	VN321	毎日	10:30 → 14:00 (12/1-12/31)	A359
中部→ハノイ	VN347	毎日	10:30 → 14:15 (12/1-12/31)	A321
中部→ホーチミン	VN341	火・水・土・日	10:30 → 14:35 (12/1-12/31)	A321
福岡→ハノイ	VN357	月・火・金・土	10:30 → 13:30 (12/2-1/2)	A321
福岡→ホーチミン	VN351	木・日	10:30 → 13:55 (12/1-12/28)	A321

*本誌掲載貨物は成田と関西へ毎日トラック便を運航。
*福岡籍貨物は関西へ毎日トラック便を運航。
*スケジュールおよび使用機材は予告なく変更する場合があります。

貨物予約・お問い合わせは： TEL 050-3388-2922 <http://www.vietnamairlines.com/en/cargo-services>